

2007年 1月 18日

環境關理 物質 不使用 證明書

會社名：히로세코리아(주)

部 署：품질보증팀

責任者：차 재환 차장



貴社에 販賣하는 製品 및 製品의 使用材料, 包裝材, 製造工程에
含有되는 添加劑 等に 對하여 貴社가 要求하는 管理水準
(使用禁止對象)의 物質을 使用하고 있지 않음을 證明합니다.
當社의 製品 및 製品의 使用材料, 包裝材, 製造工程에 含有되는
添加劑 等に 對하여 以下の 成分으로 構成되어 있음을 報告 합니다.

(1) 製品 使用素材

NO	제품명	부품명	원자재명	원자재 MAKER	비 고
1	DF1B-**ES-2.5RC	CASE	PA 1022SV2	UBE	

(2) 測定可能物質의 ICP Data는 別紙 參照 要望

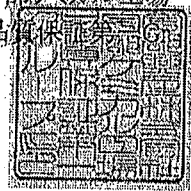
(3) 測定可能物質의 成分 分析 Data는 別紙 參照 要望

以上

ヒロセ電機株式会社 御中



2006年9月11日
寺部興産株式会社
寺部ミカド工場
品質保証部



材料評価結果報告

拝啓、貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、貴社よりご依頼のありました標記の件につきまして、下記のとおりご報告させていただきますので、ご査収の程、何卒甚るしくお願い申し上げます。

敬具

— 記 —

分析(検験)結果報告書

グレード : UBE-NYLON1022SV2

測定元素 : カドミウム、鉛、クロム及び水銀

測定方法 : カドミウム、鉛及びクロム
誘導結合プラズマ質量分析(ICP-MS)法による定量分析

水銀
還元気化-原子吸光分析(AAS)法による定量分析

注)添付データは測定後、一年以上経過しておりますが、処方上、工程上の変更はございません。
従いまして、本データは何か問題無いことを保証致します。

以上

平成 15 年 5 月 1 日

分析結果報告書

宇部興産株式会社
 宇部サカサ工場
 品質保証グループ
 サイロシステム 御中

(株)UBI科学分析センター
 分析部 無機組成分析研究室
 〒765-8638
 山口県宇部市大字小串 1978-5



平成 15 年 4 月 9 日に依頼のありました件(受付 No. 3D025)につきまして下記の通りご報告申し上げます。

龍

件名	重金属含有量測定
----	----------

1. 試料名

試料名	備考
アイロン	Lot/B2987

2. 測定結果

測定元素	測定値(平均値)	定量下限値
Cd	検出せず	0.1 μg/g
Pb	検出せず	0.1 μg/g
Cr	検出せず	0.1 μg/g
Hg	検出せず	0.1 μg/g

測定数 : n=2

注) Cd, Pb, Cr の測定は ICP-MS 法による。Hg は還元気化-原子吸光分析法による。

3. 測定方法

誘導結合プラズマ質量分析法(ICP-MS)、還元気化-原子吸光分析法による定量分析

測定方法

- Cd, Pb, Cr : 試料をビーカーにはかりとり、硫酸で湿潤し、過酸化水素および硝酸を加えて加熱分解後、ICP-MS 法により定量分析を行った。
- Hg : 試料を還流冷却器付フラスコにはかりとり、硫酸および硝酸で加熱分解後、過マンガン酸カリウムを加え、還元気化-原子吸光分析法により定量分析を行った。

測定装置

- ICP-MS : 横河オシロイカルスシステムズ製 HP4500 型
- 還元気化原子吸光分析装置 : 日本インスツルメンツ製 RA-2 型

4. BS EN 1122:2001 Method B の試験手順からの逸脱、その合意の有無

本分析は、BS EN 1122:2001 Method B の試験手順に対して、硫酸と過酸化水素および硝酸により有機物を分解後、50mL に定容量を変更して分析を行った。

5. 試験期間及び実施者の氏名

- 試験期間 : 平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 1 日
- 実施者 : 春永 和也

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

会社名 宇部興産株式会社
 住所 東京都港区芝浦 1-2-1 シーパンス N 館
 担当部門 ケミカル生産統括部 品質保証部
 電話番号 (0836) 31-3926
 FAX番号 (0836) 31-0432
 作成月日 1995年10月01日
 改訂月日 2001年04月01日

製品名(化学名、商品名など) UBE ナイロン 6 (耐熱入難燃グレード類)

対象グレード名 UBE ナイロン 1022SV2

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物
 化学式: ポリεカプラミド (ナイロン 6)
 成分及び含有率: ナイロン 6: ca. 95~75%, 難燃剤: ca. 5~25%
 化学式又は構造式: $-[\text{NH}(\text{CH}_2)_5\text{CO}]_n-$
 官報公示整理番号: (1) 主成分: (7)-357
 (化審法、安衛法) (2) 添加剤: (登録済み材料)
 CAS No.: (1) 主成分: 25038-54-4
 (2) 添加剤: (登録済み材料)

その他の成分: 微量の耐熱剤および滑剤を添加している。

3. 危険有害性の要約

分類の名称: 分類基準に該当しない。
 危険性: 可燃性物質であり、着火源があれば燃える
 通常の状態では危険な反応や火災爆発を起こす事は無い。
 有害性: 知見なし
 環境影響: 知見なし

4. 応急措置

目に入った場合: 通常の場合(樹脂粉等)は、ただちに清浄な水で洗浄し、
 不快感があれば医師の診断を受ける。
 溶融物の場合は、ただちに清浄な水で15分間以上冷やすと
 同時に洗浄し、コンタクトレンズをしていれば外し、医師
 の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合: 通常の場合(樹脂粉等)は、ただちに清浄な水で洗浄し、
 不快感があれば医師の診断を受ける。
 溶融物の場合は、ただちに清浄な水で十分に冷やす。
 皮膚上の固まった樹脂を無理に剥がさない。
 火傷があれば医師の診断を受ける。
 吸入した場合: ペレットを吸入する可能性は少ないが、樹脂粉を吸入した
 場合は、ただちにうがい等の処置を行う。
 不快感があれば医師の診断を受ける。
 溶融物から発生するガスを吸って、気分が悪くなった場合
 には、ただちに新鮮な空気のある場所に移し、回復を待つ。
 回復しない時は、医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合: できるだけ直ちに吐き出させる。多量に飲み込んだり、
 不快感が残る様ならば、医師の診断を受ける。

製品安全データシート

5. 火災時の措置

- 消火方法： 水をかけて消火するのが良い。尚、火災時には、有害なガス（CO₂, CO 及び微量の HCN, NH₃ 等）が発生する恐れがある。消火作業時には、防火服や呼吸器具類を着用すること。
- 消火剤： 水、泡沫消火剤（エアフォーム）、粉末消火剤。

6. 漏出時の措置

- 床にこぼした場合は、滑って転倒の恐れがあるので、全量集めて処分する。（廃棄方法は、廃棄上の注意に従って行う。）
- 尚、海洋生物、鳥類が摂取する事を防止する為、「樹脂ペレット漏出防止マニュアル」に従って取り扱い、少量でも環境に排出しない。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い： 樹脂の排出や搬送時には静電気が発生し易くなるので、必要に応じて静電気除去の対策（アース等）を実施する。常温では引火、爆発の恐れはないが、（消防法、指定可燃物にあたる）近くで火気をみだりに使用しないで下さい。加工時には、加熱溶融によって発生するガスを吸入しない様にして下さい。又、高温樹脂には、直接触れない様にする。長時間高温の状態では滞留させない。
- 保管： 熱・発火源から離れた場所で保管する。消防法、指定可燃物（指定量：3,000Kg 以上）に従って取り扱い、表示を行う（市町村条例に従うこと）。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度： 設定されていない。
- 許容濃度： 日本産業衛生学会：設定されていない。
ACGIH：設定されていない。
- 設備対策： 成形作業等で加熱溶融する場合：発生するガスを排出する為、有効な局所排気装置を設置して下さい。
- 保護具類： 呼吸用保護具：必要に応じ、着用が望ましい。
保護眼鏡：必要に応じ、着用が望ましい。
保護手袋：必要に応じ、着用が望ましい。
保護衣：必要に応じ、着用が望ましい。
- （その他参考） 例：融樹脂を取り扱う際には、火傷防止の為、保護眼鏡、ゴーグル、耐熱手袋及び長袖の衣服等の保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観等： 白色ペレット状
- 融点： 215 ～ 225 ℃。 比重： 1.11 ～ 1.21 (℃)。
- 溶解度： 水：不溶 (℃)。

10. 安定性及び反応性

- 発火点： 400℃以上
- 可燃性： あり。
- 貯蔵安定性： 常温で安定。
- 引火点： 知見なし
- 爆発限界： 知見なし
- 発火性： 無し。
- 酸化性： 無し。
- 自己反応性・爆発性：無し。
- 粉塵爆発性： 知見なし
- 安定性・反応性： 一般的な保管状態での取り扱いでは安定で反応性はない。

製品安全データシート

11. 有害性情報

皮膚腐食性：	知見なし
刺激性(皮膚、眼)：	乾燥、熔融時に発生するガスは、眼、皮膚を刺激する。 又、樹脂粉末や強化材等の粉末が、眼、皮膚を刺激したり、 発疹、かゆみを引き起こす場合がある。
急性毒性(50%致死量等を含む)：	oral-rat LD50=3200mg/kg [GISAAA42(3), 99, 77]
亜急性毒性：	知見なし
慢性毒性：	知見なし
がん原性：	知見なし
変異原生(微生物、染色体異常)：	知見なし
生殖毒性：	知見なし
催奇形性：	知見なし

12. 環境影響情報

分解性：	知見なし
蓄積性：	知見なし
魚毒性：	知見なし

13. 廃棄上の注意

埋め立てる時は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)に従って、公認の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理をする。
焼却する時は、管理された焼却施設を用いて、廃掃法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法の諸法令に沿って処理処分して下さい。

14. 輸送上の注意

梱包袋が破れない様に、水濡れや乱暴な取り扱いをさける。
もし、破袋してペレットが飛散した時は、滑って転倒しない様に注意する。
又、荷崩れしない様に取り扱うこと。
国連分類：非該当 国連番号：非該当

15. 適用法令

化学物質管理促進法	=	非該当
労働安全衛生法：	通知対象物質	= 非該当
	危険物	= 非該当
	有機溶剤	= 非該当
	特定化学物質	= 非該当
	変異原生物質	= 非該当
消防法：	危険物	= 非該当
	指定可燃物	= 非該当
毒物及び劇物取締法：毒物、劇物	=	非該当
船舶安全法：	=	非該当
廃掃法：	=	産業廃棄物、廃プラスチック類に該当

16. その他の情報

参考文献：「樹脂ペレット流出防止マニュアル」 日本プラスチック工業連盟

記載内容の問合せ先：宇部興産株式会社 カカカ生産統括部 品質保証部：Tel (0836) 31-3926

ここに記載した危険有害性情報は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成されたものですが、その内容の厳密性について責任を負うものではありません。

又、これらの内容は、新しい知見や情報により改訂されることがあります。

また、記載情報や注意事項等は、一般的な取り扱いを前提にしたものでありますので、特殊な取り扱いをされる場合には、ご使用先にて、ご用途・用法に応じた適合性をご判断していただくと同時に、ご用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

この危険性・有害性情報や記載内容は、情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。